



笑顔あふれるまちづくり いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員

NO. 308. 2008. 4. 13.

第1回定例会いいぬま一般質問

待機児ゼロをめざして

認可保育園の大幅増設を！

第一回定例会質問の最後は、保育園増設問題です。2月の質問以降、入園相談が続いています。「子どもを預けて働きたい」区民要求に真正面から応えない区政です。認可保育園を増設するためには地域の皆さんの力が必要です。応援してください。



質問3：「保育園不足は深刻 待機児解消は、国と自治体が責任を持つ認可保育園増設で」（全文原稿です）



08年度予算案に、盛り込まれませんでした妊婦健診無料化14回までの拡大、認証保育園への保育料助成制度、保育園保育料2子5割、3子1割への軽減は、わが党が、区民の声を紹介しながら提案を続けてきた内容であり大歓迎です。今後とも出産費用負担の軽減など子育てに特別な費用がかからない社会をめざし提案をしてみたいです。

らの説明も無く、このままで大丈夫なのか」と心配していました。都が04年に行なった認証保育所の実態調査では、6割以上の利用者が「認可保育所に入れたい」と希望しています。

品川区は、従来型の認可保育園はつくらず定数拡大と、認証保育園、幼保一元化施設、認定子ども園など様々な手法で待機児解消を図っています。しかし多くの子育て世代が求めているのは認可保育園であり認可保育園の増設なくして、待機児解消はありません。親の願いと区の施策の間に大きなギャップがあります。背景には国民の保育要求に背を向ける「福祉構造改革」の流れがあります。06年3月閣議決定された「規制改革・民間開放推進3カ年計画」では、公立保育所の民間委託と公立保育制度解体が掲げられています。その第一歩として創設



保育園不足は、深刻です。毎年4月、認可保育園を申し込んでも入れないお子さんは、200人近くになります。区内10箇所の認証保育園も10月頃には満杯、ベビーホテルに預けるしかないのです。

ベビーホテルのお母さんは「アレルギーがあり、給食が食べられず、毎日お弁当とおやつを持つていつている。それなのに保育料は月8万4千円にもなり、給料の半分以上が消えてしまう。貯金はゼロ。公立に入りたい」と訴えます。

児童福祉法第11条には「保育に欠ける子」への国と自治体の責任が明記されています。

認証保育園にお子さんをお預けしているお母さんには「預かってもらえるだけでありがたいと思っていたが、離乳食を始めてほしいと話をしたら、やっと重湯が始まった。公立ではわが子より月齢の小さい子が2回食に進んでいると聞き、栄養士か

認証保育園にお子さんを預けているお母さんへ

「保育園不足は深刻 待機児解消は、国と自治体が責任を持つ認可保育園増設で」

質問は3項目

1. 地球温暖化防止対策を！
2. ワーキングプア解消を！
3. 認可保育園増設を！



本会議傍聴ありがとうございました

されたのが「認定こども園」です。幼稚園と保育園の一体化を強調している「認定こども園」ですが、規制緩和を更に進め、保護者と施設の直接契約、保育料の自由化、最低基準引き下げなど企業が参入しやすい土台をつくることをねらいとしています。この流れを突き進むと介護保険のように保育もお金で買うサービスに変質してしまいます。国や自治体が責任を放棄し、子どもの命と健康を守り、成長、発達を保障する保育を企業の儲けの対象にするようなことは許されません。

間は日本より年間200時間も少なく、パート労働への均等待遇など子育てしやすい環境が整っています。子育て先進国を見習えば2人目3人目が産める日本になるのです。求められているのは「子どもを、親を、労働者を大切にす政治」です。



税金の集め

方、使い方を換えれば財源は確保できます。税金をしっかりと投入し、現行保育制度の拡充こそ国と自治体の責務です。

1. 質問

1. 区は待機児ゼロを目指すべきと考えます。保育要求の実態をつかみ、待機児解消のため認可保育園大幅増設計画を求めます。

少子化を回復したフランスやスウェーデンでは、GDPに対する家族対策費の比率は日本の4倍から5倍。認可保育園の利用は2倍、育休は普及し、労働時

2. 荏原西地区小中一貫校での幼保一体化施設

設計画が中止となりましたが、同地域に代替の認可保育園を早急に建設すべきと考えます。いかがでしょうか。

や「認定こども園」など国の最低基準を引き下げ、税金投入を減らす安上がりな保育でごまかす政治ではダメ！「税金の無駄遣いを止める運動を広げましょう。応援します。 雅子

マンション建設を次々に進めながら「認可保育園」をつくらない品川区。部長がなんと答弁しても、3月末現在、保育園に入れなかった子は280人(昨年比100人増)と深刻です。民間だけの「認証保育園」

4. 認可保育園、認可幼稚園、幼保一元化施設、認証保育園、認定こども園、ベビーホテルなども施設が多様化しています。どの施設においても子どもの個性が尊重され最善の保育、教育が保障されるべきと考えます。また保護者の経済的負担が認可施設と同等になるよう支援すること、は、国と自治体の責任であると考えます。いかがでしょうか。

5. 認可外施設である認証保育園、ベビーホテルの実態をつかんでいるのでしょうか。調査と改善を求めます。

(部長答弁)

①品川区では、過去5年間で認可保育園4園の増設を含め、400人を超える定員増を図り、入園希望者への対応に努めてまいりました。来年度は私立の認定こども園や認可保育園の開設、既存保育園の定員増や弾力化等によって、200人程度の新規受け入れ枠を確保するほか、

認証保育所の誘致など、多様な方策により、待機されている方々の対応に努めてまいります。

②また、荏原西地区への対応といたしましては、地元のご期待や今後の保育需要等を真筆に受けとめ、今後の施設計画に生かしてまいります。

③次に、閣議決定による規制改革・民間開放推進3カ年計画

についての見解をとこのことでございますが、この計画は各分野別に規制緩和の基の方針を定めたものと認識をしております。

④次に、乳幼児施設が多様化についてですが、就労環境やライフスタイルの多様化が顕著な都市部では、乳幼児の状況に応じて選択できる子育て環境が望ましいと考えております。

保護者が多様な選択肢の中から、みずから責任において施設や制度を選択できるような、区としても可能な範囲で支援をしてまいります。

⑤なお、認可外施設につきましては、指導権限は東京都にあります。都の立入調査の際は区も同行するなど連携をして、認可外施設の実態把握に努めております。